

世界中のオーケストラと共演を重ねる新世代の名手

# アリーナ & セドリック

ヴァイオリン

イブラギモヴァ

ティベルギアン

ピアノ

至極のデュオ

Cédric  
Tiberghien  
Piano

セドリック・  
ティベルギアン

Alina  
Ibragimova  
Violin

アリーナ・  
イブラギモヴァ

## PROGRAM

ドビュッシー：ヴァイオリン・ソナタ 短調

Debussy: Violin Sonata in G minor

プーランク：ヴァイオリン・ソナタ

Poulenc: Violin Sonata, FP 119

武満徹：妖精の距離

Takemitsu: Distance de Fée

シューマン：ヴァイオリン・ソナタ 第2番 短調 op.121

Schumann: Violin Sonata No.2 in D minor, op.121

2024. **11/16(土)** 2:00PM開演 (1:30PM開場)  
A¥5,000 B¥4,000 (税込/全席指定)

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売

7/28  
(日)

芸術文化センター  
チケットオフィス

インターネット予約

☎0798-68-0255

(10:00AM - 5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

芸術文化センター会員先行予約受付開始

7/25(木)

※窓口での販売  
(残席がある場合)は7/30(火)より

※未就学児はご入場いただけません。  
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が  
変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



兵庫県立  
芸術文化センター



©Eva Vermandel

# 互いの信頼から生まれる大胆かつ究極に繊細なハーモニー



© 飯島隆 2017年神戸女学院小ホールより

2017年初登場以来の7年振りとなるアリーナとセドリックのデュオ・リサイタル。  
“音楽の神ミューズに愛された”と称される若き実力派ヴァイオリニスト、アリーナ・イブラギモヴァ。無伴奏でのヴァイオリン・リサイタルでの美しい演奏、3月のカルテットの鮮烈な演奏も記憶に新しい。

セドリック・ティベルギアンは1998年、長い伝統を誇るフランスのロン＝ティボー国際コンクールで優勝し一躍その名が知られ、研ぎ澄まされた音色と色彩豊かな表現力で聴衆を魅了し世界中で活躍し続けるピアニスト。

そんな二人は2005年BBCラジオ3のニュー・ジェネレーション・アーティスト・スキームのメンバーとして初めて出会った。2007年のチェルトナム・フェスティバルにおいて、タイムズ紙は、「この2人は世界を制覇する可能性を秘めている」と称賛した。

二人はアムステルダム・コンセルトヘボウ、ニューヨークのカーネギー・ホール、ヨーロッパや北米、アジアやオーストラリアなど世界各地で演奏活動を行っている。

今回のプログラムの前半は、ドビュッシー最後の作品となったヴァイオリン・ソナタ、同じくフランスを代表する作曲家ブーランクが1942年の夏から翌年の春にかけて作曲した最後のヴァイオリン・ソナタをお届けする。いずれも緊迫感漂う響きの凝縮されたプログラムを二人のハーモニーで聴くことができるのは実に楽しみ。後半は武満徹の透明感あふれる初期の作品で始まる。続くシューマンが作曲した2番目のヴァイオリン・ソナタは、第1番の出来に満足できなかったシューマンが僅か一週間ほどで完成させたといわれる楽曲。シューマンが自身の想いを一気に書き上げた情熱と、新世代の名手同士が築き上げた信頼関係でこそ成しえる究極の表現が共鳴するリサイタルを是非体感していただきたい。

## アリーナ・イブラギモヴァ(ヴァイオリン)

バロック音楽から委嘱新作までピリオド楽器とモダン楽器の両方で演奏するアリーナ・イブラギモヴァは、2015年BBCプロムスでバッハ無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータの全曲演奏を行い、英ガーディアン紙は、この公演を「イブラギモヴァの演奏の臨場感と誠実さには、演奏家と聴衆の間に存在するいかなる距離感をも打ち破る興味深い能力が備わっている」と評価。

2023/24シーズンは、ロイヤル・ストックホルム管、エイジ・オブ・エンライトメント管、マーラー室内管等に再登場。これまでに、ロンドン響、バイエルン放送響、ポストン響、ヨーロッパ室内管等と共演。また共演した指揮者には、ベルナルト・ハイティンク、サー・ジョン・エリオット・ガーディナー、ダニエル・ハーディングなどがいる。室内楽でパートナーを組むセドリック・ティベルギアンとは、ウィグモア・ホール、コンセルトヘボウ、ウィーン・ムジークフェラインに出演、またキアスクーロ・カルテット(弦楽四重奏)の創立メンバーとしても活動。

最新の録音は、テレマンの「無伴奏ヴァイオリンのための12の幻想曲」。使用楽器は、ゲオルク・フォン・オベルから貸与されたアンセルモ・ペローシオ(c.1775年製)。



Alina Ibragimova  
Violin

©Joss McKinley

## セドリック・ティベルギアン(ピアノ)

フランスのピアニスト、セドリック・ティベルギアンは、輝かしい国際的なキャリアを確立し、カーネギー・ホール、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ザルツブルクのモーツァルテウム等、世界で最も名声の高いホールに登場している。

2023/24シーズンは、ロンドン・フィル、サンフランシスコ響、リヨン国立管等に再登場。昨シーズンは、ベルリン・フィル、フランス国立管、バーミンガム市響で演奏。また、ロンドンのウィグモア・ホールとのつながりは長く、今シーズンも続く「ベートーヴェン変奏曲」プロジェクトの第5弾で、他の作曲家の作品を並べ、このジャンルの進化を示している。この他にもマーラー室内管のヒツアツッカー音楽祭にも出演する。

これまでロンドン響、ポストン響、チューリッヒ・トーンハレ管、チェコ・フィル、パリ管等と共演、またクリストフ・エッセンバッハ、フランス＝グザヴィエ・ロト、ステファン・ドヌーヴ等世界的指揮者と共演。室内楽にも熱心に取り組んでおり、特に、アリーナ・イブラギモヴァ(vn)、アントワン・タメスティ(va)とは定期的にパートナーを組んでいる。最新の録音は、ハルモニア・ムンディより24年1月「Variations vol.2」をリリース。



Cedric Tiberghien  
Piano

©Frances Marshall



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター  
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



## 便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも  
ホールまで15分  
(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

## アクセス

